

基本的運営方針	令和 7 年度事業計画			令和 7 年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
1 資料の収集・保存 総合博物館である当館は、開館以来、一貫して郷土の歴史や自然、文化などに関する資料の収集・保存に努めています。県民・国民共有の財産である貴重な資料を、良好な状態で次の世代に継承していきます。	寄贈・寄託の受入等を推進するとともに、資料の保存処理を計画的に実施し適切に保管します。 また、デジタル・アーカイブ化を推進します。	資料収集方針等に基づき受入を適切に行い、館所蔵の資料を充実させるとともに、資料管理システムへ登録します。	・資料寄贈、寄託受入 ・資料管理システムへの登録点数 [登録：400 点/年]	寄贈の申出のあった資料について、資料受入等判定会議を開催し、資料収集方針に基づき適切に受入を行い、収蔵資料の充実を進めた。 ○資料受入：58 点（総点数：102,010 点） 資料の整理作業を進め、資料管理システムへの登録を行った。 ○資料管理システムへの登録点数：334 点（総点数：105,330 点）	概ね達成
		ゲストキュレーターの協力を得て収蔵資料の整理を進め、適切に保管します。 資料の保存処理を行います。	・ゲストキュレーター活動実績 ・資料の保存処理の実績	ゲストキュレーターの協力を得て収蔵資料の整理を進めるとともに、保存処理を計画的に進めた。 ○ゲストキュレーターによる収蔵資料整理（自然分野） 「下山健作コレクション（昆虫標本）」のハムシ類の整理を実施。成果を令和 7 年度研究紀要 50 号で公表。 ○ゲストキュレーターによる収蔵資料保存処理（考古分野） ・考古分野の玉清水遺跡出土土器 20 点修復 ・下田代納屋遺跡出土土器 10 点修復 ○外部委託による収蔵資料保存処理（考古分野） ・重要文化財大石平遺跡出土品 7 点修理 ・県重宝漆塗製品 2 点修理	達成
		資料を点検し、厳正な保管を行います。	・資料の点検実績	○資料の点検 主に国及び県指定文化財等を中心に 3 月に点検を実施した。	達成

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
2 展示 郷土の歴史や自然、文化などを体感し、学び、知的探求心が喚起されるよう、わかりやすい展示を行います。 また、他の博物館や民間事業者等の多様な主体との連携により、郷土への関心が高まるよう、多彩な活動を展開します。	郷土の歴史や自然、文化などを体感し、学び、知的探求心が喚起されるよう、休館中においても館外での展示を行い、資料に触れる機会を確保するとともに、リニューアルに向けた展示設計について検討します。 多様な主体との連携により、郷土への関心が高まるよう、多彩な活動を展開します。	サテライト展を開催します。 サテライト展の開催に当たり、関連事業を実施し、体験活動や解説を行います。 多様な主体との連携により、多彩な共催展を開催します。	・サテライト展開観覧者数 [6,100 人] ・関連事業参加者数 [50 人] ・アンケート結果 ・共催展開催実績 ・展示設計における検討実績	サテライト展及びその関連事業を開催したほか、多様な主体との共催展を7展開催し、多くの方に観覧いただき、好評を得た。 ○サテライト展の開催 サテライト展「石!? あつめてみました」11/15～1/18（53日間） …青森県立美術館企画展示室A・Bを会場に、本県で見られる石や石材、石造物の特徴等の解説とともに、石と人々の生活との関わりについて、多様な側面から紹介。 ＜観覧者数＞ 45,000 人 ＜関連事業＞ ・石カード（展示資料の石の写真と解説入りカード）贈呈 ・土日祝日及び12/24～25：カプセルトイでオリジナルグッズ贈呈 ・推し石総選挙（アンケートによる投票の結果をHP等で公開） ・11/16：講演会「あおもりの化石と奇石」（参加者26人） ・11/30：ワークショップ「化石レプリカをつくろう」（参加者28人） ・12/14：ワークショップ「石アートに挑戦」（参加者27人） ・12/24～25：クリスマスイベント「きれい カワイイ 石アクセサリーづくり」（参加者112人） ・1/4：お正月イベント「石にふれる 石をかんじる」（参加者256人） ＜アンケート＞ 来場者アンケートに8,724人（回答率19.4%）が回答し、満足度99.8%（非常に満足37.7%、満足54.1%、やや満足8.0%）との結果を得た。 主な意見として、「昔よく行った郷土館にまた行きたい」など郷土館の再開を求める声や、「おもしろい石・きれいな石がたくさん見られてよかった」、「身近な石の特徴がわかってよかった」、「石だけの展示でここまで満足したのは初めて」といった意見のほか、県内の方から「イワキサンクジラを始めて知りびっくりした」、「幼少時に連れて行かれた地元の風習の意味がわかってさっぱりした」など、県外の方からも「青森に根づいた構成がとても楽しかった」、「資料の絵はがきや写真で見た石の景勝地に実際行ってみたい」などの感想があり、地域性のある展示への評価が見られた。また、「次回の展示が楽しみ」といった今後の展示への期待も寄せられていた。 関連事業に関しても、「鍾乳石の実物を見て、触れることができとても感動した」等、好評を得た。	達成

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
2 展示 つづき				○多様な主体との連携による共催展の開催 (1) 次の6展を「旅する博物館－青森の記憶をめぐる六感の旅－」と題して開催 ・第一感「ようこそ！缶詰王国あおもりへ 魚の缶詰大集合!!」 4/26～5/6（11日間）、共催(会場)：観光物産館アスパム …本県の缶詰史について魚の缶詰を中心に紹介。（観覧者数 5,568 人） ・第二感「～見て・知って～あおもりの生き物たち」 4/26～6/15（44日間）、共催(会場)：十和田市馬事公苑指定管理者 NPO 法人十和田馬主協会（十和田市称徳館） …県内に生息する哺乳類、鳥類について当館所蔵のはく製を展示し、身近な生き物を紹介。（観覧者数 1,223 人） ・第三感「缶詰王国あおもり with 弘前大学」 6/21～8/28（53日間）、共催(会場)：弘前大学資料館 …弘前大学の学生とともに展示作業を行い開催。本県の缶詰史と食文化について紹介。（観覧者数 1,558 人） ・第四感「仏さまもびっくり!? 下北・津軽・南部のお盆行事」 6/26～7/2（7日間）、共催(会場)：むつ市中央公民館 …下北地方を中心に本県のお盆の特徴的な行事、風習を紹介。（観覧者数 1,625 人） ＜関連事業＞ 記念講演「仏さまもびっくり!? 下北・津軽・南部のお盆行事」 （6/26、会場：むつ市中央公民館大ホール、参加者 55 人） ・第五感「写真でたどる津軽なつかしの風景」 7/25～8/24（27日間）、共催(会場)：常盤ふるさと資料館あすか …主に昭和 30～40 年代に津軽地方で撮影された当館所蔵写真により当時の風景を紹介。（観覧者数 478 人） ・第六感「鈴木正治・きのしごと」 9/6～9/28（20日間）、共催(会場)：青森市森林博物館 …青森市出身の彫刻家、鈴木正治の木彫作品を展示。（観覧者数 599 人） ＜関連事業＞ ・アートトレッキング（9/6、参加者 16 人） …展示会場及び青森市新町界隈の屋外作品を巡りながら解説。 ・ギャラリートーク（9/13、参加者 16 人） …展示資料を詳しく解説。	

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
2 展示 つづき				(2) その他の共催展 ・弘前大学資料館第40回企画展「津軽が生んだ植物学者 郡場寛～弘前とシンガポールをつなぐ郷土の偉人」 10/14～1/22(77日間)、共催：弘前大学農学生命科学部、弘前市、弘前大学資料館(会場) …青森市出身で同大学の第2代学長を務めた世界的な植物学者の郡場寛の業績や人物像を当館所蔵資料などで紹介。(観覧者数597人) ・アスパム マチコトバ マルシェ「あおもり鉄道マルシェ「昔と今をつなぐ青森の地域鉄道」」 3/14～3/15(2日間)、共催(会場)：青森県観光物産館アスパム …絵はがきや写真、駅弁、みやげなど県内地域鉄道に関する収蔵資料で青森の鉄道の歴史を紹介。(観覧者数2,511人) ○その他の展示事業 郷土館東側ウィンドーにおいて収蔵資料から季節にちなんだ事物を展示。12/20からは資料と電飾を組み合わせた「冬のあったかイルミネーション」も実施(街路から常時観覧可能)。 ・「春の風物詩」3/1～5/31(92日間) …昭和の桜まつりの写真と露店商の道具を展示 ・「夏を涼しく」6/1～9/30(122日間) …懐かしいホーロー看板とうちわ・虫除けの道具などを展示 ・「秋の風物詩」10/1～11/30(61日間) …昭和のリンゴポスターとりんご籠・りんご箱を展示 ・「冬を暖かく」12/1～3/31(121日間) …暖房や採暖に使われた昔の道具を展示 ○展示設計における検討 県教育長への報告に向け、青森県立郷土館整備検討会議により当館整備に係る今後の整備方針等が整理・検討されたが、それと並行して、当館においても検討会議の議論に資する資料の作成等に当たって検討を進め、「新たな県立博物館では、背景となる自然環境と歴史・文化を融合させた総合的な展示を、①自然との共生、②ふるさと青森のあゆみ、③変化に富む四季と世界や日本で認められた宝として展開する。」こととして整理した。	

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
3 調査研究 郷土の歴史や自然、文化などについてより明らかにし、記録・公開するため、調査研究を行います。	各分野ごとにテーマを設定し、年次計画に基づいて調査研究を実施し、記録・公開します。	<考古分野> 県内外に所在する青森県ゆかりの考古資料について、文献調査を行うとともに、中部地方の博物館や青森県内の高等学校を対象に、調査を行います。 (5年計画3年次目)	・調査研究実施実績 ・成果の公表実績	<考古分野> …当館収蔵大型壺形土器の底部圧痕研究を東京都立大学と共同で行い、これまでの成果を『青森県立郷土館研究紀要第50号』で公表した。 ・「六ヶ所村弥栄平（1）遺跡大型壺形土器の底部圧痕研究」（杉野森淳子・藤原有希・山田昌久（東京都立大学）・塩地潤一・小野綾夏・永井美香（大分市教育委員会）） …当館収蔵資料玉清水（1）遺跡出土品について、早稲田大学と共同で「玉清水(1)遺跡発掘調査報告書（遺物編）」を作成し、2月末に刊行した。 …昨年度調査した青森県立弘前南高等学校所蔵考古資料の調査内容の整理を進めた。	達成
		<自然分野> 高森鉾山遺構（青森市滝沢）について調査（即日、年数回）を行います。 また、上北鉾山（七戸町）の元鉾山員への聞き取り調査を行います。 (3年計画3年次目)		<自然分野> …青森市滝沢において、上北鉾山と関係が深い高森鉾山のものと思われる選鉾場跡の実地調査を実施し、調査結果と高森鉾山から発掘された鉾石を利用した鉾物標本について研究。その成果を『青森県立郷土館研究紀要第50号』で公表した。 ・「高森鉾山選鉾場跡と高森鉾山の鉾石を利用した鉾物標本について」（島口天・原裕太郎） …次の論考を同研究紀要で公表した。 ・「下山健作コレクション甲虫類目録（7）ハムシ類」（鈴樹亨純・原裕太郎） ・「梵珠山における初心者向けコケ観察マップの作成とその教育体意義」（原裕太郎・太田正文）	
		<歴史分野> 青森県を中心とした近世・近現代の交通の様相について調査を行います。 (5年計画3年次目)		<歴史分野> …青森県の近世の交通史の調査として、八戸藩の参勤交代について調査研究。その成果を『青森県立郷土館研究紀要第50号』で公表した。 ・「八戸藩の参勤交代について」（佐藤良宣・滝本敦）	

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
3 調査研究 つづき		<民俗分野> 館蔵資料及び既存の報告書類の再確認と実地調査を通じた新たな調査項目の検討を行います。 (7年計画3年次目)		<民俗分野> …これまで調査した津軽地方に加えて、下北地方及び南部地方に関わる館蔵資料及び報告書類を再確認し、そのなかから青森県内の鬼の伝説や伝承資料について再分析。その成果を『青森県立郷土館研究紀要第50号』で公表した。 ・「青森県における鬼の伝承についての再考」(小山隆秀) …南部地方の盆行事に関わる習俗等について実地調査を実施。	
		<美術分野> 青森県の美術作品について、昭和・平成期を中心に、作家及び関連資料の調査を行います。 青森市出身の作家・鈴木正治が制作した作品を精査し、関連資料についての調査を行います。 (3年計画3年次目)		<美術分野> …青森市出身の作家・鈴木正治が制作した館所蔵の石彫について素材やテーマ等で分類し、制作の背景や動機を考察。その成果を『青森県立郷土館研究紀要第50号』で公表した。 ・「青森県立郷土館所蔵の鈴木正治石彫作品について」(太田原慶子)	
				<教育普及> …青森県立郷土館整備検討会議などでの検討において参考となる、未来の博物館に関する次世代の意見を得る機会として、「高校生・大学生が考える未来の博物館構想事業」を実施。事業詳細を事例報告として『青森県立郷土館研究紀要第50号』で公表した。 ・「高校生・大学生が考える未来の博物館構想事業」(中沢秀一・伊丸岡政彦)	

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
4 教育普及・学習支援 博物館への興味関心を高め、郷土に関する理解を深めるため、人々の学習を支援し、教育普及活動の充実を図ります。	博物館への興味関心を高め、郷土に関する理解を深めるため、考古、自然、歴史、民俗の各分野において、人々の学習を支援し、教育普及活動の充実を図ります。	館外で一般向け事業及び児童生徒向けの事業を実施します。 【一般対象の事業】 ・土曜セミナー 当館職員が本県の歴史や文化、自然などをテーマにした講演等を実施します。 ・講師派遣 県内市町村等、館外からの依頼に応じて当館職員が自分の専門分野をいかした講演等を行います。 ・移動博物館 館外からの依頼に応じて、当館で所蔵している資料を公共施設などに持参し、資料の解説や体験活動を行っていきます。 ・自然観察会 野外での自然観察を通じて自然に親しみ、自然の素晴らしさを学びます。 ・あおもり街かど探偵団 古い建物や街並みを散策し、地域の歴史を探ります。	・開催実績 [定員の8割以上] ・アンケート結果	館外において、講演や体験活動等を行い、多くの県民に参加いただくことで、博物館への興味関心を高め、郷土に関する理解を深めた。 【一般対象の事業】 ○土曜セミナー〔会場：県総合社会教育センター〕 …土曜日に年11回開催（5月以降の月1回）、各回定員40名。 ・5/31「平安時代の十和田火山噴火とその影響」（参加者56人） ・6/14「祝 大平山元遺跡出土品国重要文化財へ」（参加者37人） ・7/19「初めての人のための忍者講座ーみちのくの忍び達の実像を求めてー」（参加者36人） ・8/30「菅江真澄も見た！ イザベラ・バードも聞いた！ 北奥の奇習!! 木の上で暮らす謎の若者たち」（参加者51人） ・9/20「コケの魅力」（参加者32人） ・10/18「米作りの歴史～イネ・米・稲作についてくわしく学ぼう！」（参加者16人） ・11/8 「戦争と青森の科学者たち」（参加者22人） ・12/20「明治期における交通史東京ー青森間の鉄道開業について」（参加者48人） ・1/24「必見!! 全国に影響を与えた青森県のすごい企業」（参加者18人） ・2/24「絵はがきと写真は語る～あおもりの昔のこと～」(参加者22人) ・3/7 「土器の文様を見るー青森市玉清水遺跡ほかー」（参加者42人） ＜アンケート＞ 各回とも好評価をいただいた。また、毎回共通して郷土館の早期再開を求める声が寄せられている。（平均参加者34人） ○講師派遣 …様々な主体からの申し込みによる19件（自然4、歴史5、民俗10）について学芸員を派遣し講演等を実施。（利用者計633人） ＜アンケート＞ 依頼元から提出される実施報告書では、郷土の文化や歴史について分かりやすく紹介され、身近に感じることができ、理解が深まったとの報告があげられており、好評を得ている。	達成

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
				○移動博物館 ・「化石レプリカを作ろう!!」 8/19〔会場：大鰐町放課後児童教室〕 …アンモナイトなどの化石を石膏で複製し、自由に彩色するワークショップを開催。（参加者 13 人） ＜アンケート＞ また参加したいなど好評価であった。 ○特別移動博物館 …遠隔地のため、なかなか当館及び当館事業の開催地へ足を運ぶのが難しい地域の方に向け、その地域にゆかりのある当館収蔵資料を持ち込んでの展示や解説、ワークショップ等を、地元市町村の教育委員会等と連携して企画、実施。令和7年度からの新規事業。 ・「古代生物佐井村に上陸」 8/23～24〔会場：佐井村津軽海峡文化館アルサス〕 …氷河期の下北地域の動物化石を展示。（参加者 54 人） ・「土器でドキドキ」 10/4～5〔会場：佐井村津軽海峡文化館アルサス〕 …佐井村ゆかりの土器や石器を展示。（参加者 57 人） ・「ダイカイギュウ深浦町上陸!!」 11/1～2〔会場：深浦町岩崎支所ふれあい創造の館〕 …主に深浦町で発見されたダイカイギュウ等の化石を展示。（参加者 72 人） ＜アンケート＞ 普段地元では見ることができない展示資料を見る機会があつてとてもよいと、いずれも好評であった。	

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
4 教育普及・学習支援 つづき				○自然観察会（各回定員 20 名） ・夏の自然観察会 7/6（日）〔開催地：十和田市蔦沼自然観察教育林〕 …蔦沼を愛し十和田湖の魅力を全国に広めた文人「大町桂月」の没後 100 年にちなんで、蔦沼周辺を散策しながら地形や動植物などを観察し、火山活動で生じた湖沼の成り立ちと、環境に合わせて分布する動植物を通じて自然界の不思議や仕組みについて解説。（参加者 18 人） ＜アンケート＞ 植物や地形について専門的な解説を聞いて興味深かった等の意見が寄せられた。 ・秋の自然観察会 10/5（日）〔開催地：深浦町行合崎〕 …氷河時代に形成された海岸段丘や行合崎に分布する岩石などを散策しながら観察し、奇岩奇勝の成り立ちと、山野草とは異なる海浜植物の特徴について解説。（参加者 21 人） ＜アンケート＞ アザミの見分け方について学ぶことができた、化石探しが楽しかった等の意見が寄せられた。 ○あおり街かど探偵団（各回定員 15 名） ・第 1 回「城下町弘前 武士の作法と暮らしを体感しよう」 6/8（日）〔開催地：弘前市仲町伝統的建造物群保存地区〕 …当館学芸員のほか、弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会今井二三夫会長を講師に迎え、近世に武家屋敷が並ぶ侍街があった弘前市仲町を散策しながら、武家屋敷の歴史と武士の暮らしぶりや作法等について解説。（参加者 13 人） ＜アンケート＞ 武家屋敷は弘前の宝、良い体験ができた等の意見が寄せられた。 ・第 2 回「郷土菓子の歴史と文化」 9/28（日）〔開催地：青森市本町地区〕 …本県で最初に清涼飲料水を製造したと考えられる佐野仙之助商店や日露戦争当時にまぐろ缶詰を軍納した長谷川與兵衛商店などの歴史ある菓子店・食品店やその跡地を訪ねて青森市本町地区を散策しながら、青森の風土に培われたユニークな菓子や食の歴史などについて解説。（参加者 15 人） ＜アンケート＞ 視点を変えて楽しく街をみることができた等の意見が寄せられた。	

青森県立郷土館 令和 7 年度評価

基本的運営方針	令和 7 年度事業計画			令和 7 年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
4 教育普及・学習支援 つづき				○その他の一般対象事業 ・学習支援（依頼講師等） …外部団体主催の講演等の依頼による 9 件（民俗 5、自然 1、歴史 3）について実施。（利用者系 343 人） ・「博物館の仕事普及啓発事業」10/1〔会場：横浜町郷土館〕 …博物館活動に対する県民の理解を深める目的で、今年度開館した横浜町郷土館を会場に講演会を開催。また、同館展示室の見学、当館の民俗調査記録と収蔵写真の紹介及び意見交換会を実施。（参加者 11 人） ※ 青森県博物館等協会会員館の職員等を対象に開催する「青森県博物館大会」と併催。 ・レファレンスサービス …県民等からの問い合わせ 500 件に対応。	

基本的運営方針	令和 7 年度事業計画			令和 7 年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
4 教育普及・学習支援 つづき		【児童生徒向け事業】 ・ 出前授業 実物資料を持参して学校の学習内容に応じた資料展示や解説、体験活動を行い、児童生徒の学習活動を支援します。 ・ こどものくに 夏・冬休み中の子どもたちを対象に、もの作りや体験活動を行います。	・ 開催実績 [定員の 8 割以上] ・ アンケート結果	【児童生徒向け事業】 ○出前授業 …当館が提示する授業メニューに申し込んだ学校で授業を実施。19 件の実施により、805 人が利用。 ・ 7/1 つがる市立稲垣小学校 6 年生「大昔の村の暮らし」 ・ 8/28 平内町立山口小学校 3 年生「昔の遊び」 ・ 9/2 青森市立高田小学校 5 年生「米づくり」 ・ 9/9 青森市立東中学校 1～3 年生「青森県の自然について」 ・ 11/6 三沢市立古間木小学校 4 年生「郷土をひらく」 ・ 11/18 弘前市立豊田小学校 3 年生「古い道具と昔の暮らし」 ・ 11/25 つがる市立瑞穂小学校 3 年生「古い道具と昔の暮らし」 ・ 11/27 五所川原市立栄小学校 3 年生「古い道具と昔の暮らし」 ・ 12/2 青森市立合浦小学校 6 年生「長く続いた戦争」 ・ 12/18 つがる市立稲垣小学校 6 年生「長く続いた戦争」 ・ 12/18 つがる市立稲垣小学校 6 年生「長く続いた戦争」 ・ 1/29 青森市立合浦小学校 6 年生「長く続いた戦争」 ・ 2/10 弘前市立時敏小学校 3 年生「古い道具と昔の暮らし」 ・ 2/12 六戸町立義務教育学校六戸学園「古い道具と昔の暮らし」 ・ 2/17 黒石市立東英小学校 3～6 年生「古い道具と昔の暮らし」 ・ 2/19 弘前市立福村小学校 3 年生「古い道具と昔の暮らし」 ・ 2/24 つがる市立向陽小学校 3 年生「古い道具と昔の暮らし」 ・ 2/26 八戸市立青潮小学校 3 年生「古い道具と昔の暮らし」 ・ 3/3 平内町立山口小学校 3～4 年生「古い道具と昔の暮らし」 ・ 3/5 五所川原市立金木小学校 3 年生「古い道具と昔の暮らし」 <アンケート> 昨年度から引き続き実施時間 60 分を基本として内容を厳選して行い、実施した学校から好評価を得ている。	達成

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
4 教育普及・学習支援 つづき				○特別出前授業 …出前授業のメニュー外の内容で実施を申し込んだ学校で、内容等の調整を行った上で、授業を実施。 ・「青森の歴史と学芸員の仕事（考古・歴史編）」 12/19 県立弘前南高等学校2年生 …日本史履修生徒向けの授業として、実物資料（絵図・絵葉書、土器など）を使って博物館業務の詳細を説明。（参加者36人） ＜アンケート＞ 郷土の歴史への発見や気づき、博物館や学芸員への興味関心の高まりを感じる意見が多数あった。将来「博物館で働きたい」、「学芸員になりたい」とする回答も複数見られた。 ○こどものくに〔会場：社会教育センター〕（各回定員25人） ・夏休みこどものくに「ペーパークラフトを工作しよう！」7/26 …世界遺産などをモデルにペーパークラフトを作成。（参加者24人） ＜アンケート＞ ペーパークラフト工作を上手く作ることができてよかった。また、今年度のサテライト展の見どころ解説があって、青森県の石にまつわる詳しい話も聞けて大変良かったという意見が寄せられた。 ・冬休みこどものくに「づぐりまわし大会」1/11 …郷土の伝統的な冬の遊び「づぐり（こま）まわし」を体験。（参加者26人） ＜アンケート＞ 「づぐり」の由来についての解説もあり楽しく体験できたので、また参加したいという意見が寄せられた。	

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
4 教育普及・学習支援 つづき				○その他の児童生徒向け事業 ・高校生・大学生が考える未来の博物館構想 未来の博物館に関する次世代の意見として検討の参考とするため、ワークショップで出た意見を県立郷土館整備検討会議（第4回）に報告。また、事業の詳細「高校生・大学生が考える未来の博物館構想事業について（中沢秀一・伊丸岡政彦）」を研究紀要第50号に掲載予定。 (1) 弘前大学 7/12 開催 …「これからの県立の博物館に望まれるもの」をテーマに意見交換するワークショップを開催。（参加者20人） ＜アンケート＞ これからの県立博物館は、青森県にどんな自然や文化があるのかを知ることができ、さらに後世に伝えると同時に、過去を知って未来を考える場であってほしい等の意見が出された。 (2) 県立青森南高等学校 全4回（7/2、7/9、7/22、7/23）開催 …「これから青森県立の総合博物館をつくるとしたらどのような博物館が望ましいのか？」をテーマに意見交換するワークショップを開催。（参加者延べ55人） ＜アンケート＞ 青森県の昔と今がわかって祖父母と孫が語り合えたり、県民が自主的に青森県の未来を考えたりできるような博物館が望ましい等の意見が出された。	

青森県立郷土館 令和7年度評価

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
5 運営体制 すべての人に開かれた、安全・安心で快適な空間の提供と多様化するニーズへの対応のため、施設・設備の充実と館職員のさらなる資質向上に努めます。 また、資料を介してコミュニケーションを図り、他の博物館や学校、図書館、民間事業者等、多様な主体との積極的な連携・協働を推進し、社会の要請に応える博物館として総合力を高めます。これらの博物館活動を継続していくため、経営資源を最大限に生かしながら、効率的・効果的な運営基盤の確立を図ります。	すべての人に開かれた、安全・安心で快適な空間づくりを推進します。	新しい博物館の整備に向けた検討を進めます。 施設設備の定期点検を実施します。	・整備に向けた検討実績 ・施設設備の定期点検実績	○青森県立郷土館整備検討会議の開催 当館の整備に係る基本計画作成等に向けて、今後の整備方針等を整理・検討するため、主管課の文化財保護課と連携し、有識者による青森県立郷土館整備検討会議を設置。全6回を開催し、「青森県立郷土館整備検討会議報告書」が県に提出された。 ○施設設備の定期点検 定期点検を実施の上、不具合のあった設備については重要度等を踏まえ修繕した。	達成
	多様化するニーズに対応するため、研修への派遣等を通し、館職員のさらなる資質向上に努めます。	職員を研修に派遣します。 館内での研修を行います。	・各種研修の実績	○館外研修の受講（職員派遣またはオンラインによる受講） ・「博物館・美術館等保存担当学芸員研修」（東京文化財研究所） ・「国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会」（文化庁） ・「文化をつなぐミュージアム研修」（文化庁） ・「県職員向けSNS研修」（県総務部広報広聴課） ・「博物館資料に係る電磁的記録の作成と公開～記録、目録、デジタルアーカイブとコレクション管理～」(日本博物館協会) ・「青森県埋蔵文化財担当者等研修会」（県教育庁文化財保護課） ・ミュージアム・パブリックリレーションズ研修（文化庁） ○文化庁事業「博物館機能強化推進事業」を活用した館内研修の実施 ・「ネット広報の基本と実践について」 ・「Chatgptによる情報収集について」 ・「AIによる広報コンテンツ作成（実践）」 ○館内研修の実施 ・資料保存に関する研修 12回 ・博物館活動に関する研修 9回	達成

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
5 運営体制 つづき	郷土館だより等の作成・配布やホームページ、複数のSNSの活用などにより、情報発信を推進します。 ホームページのアクセス数向上に取り組みます。	郷土館だより等を作成・配布します。 様々な広報・情報媒体を計画的・効果的に活用します。	・出版物発行実績 ・広報配布物発行実績 ・情報媒体活用実績（新聞、テレビ・ラジオ、雑誌） ・SNS活用実績 ・HPアクセス数 [30,000件/年]	ホームページ及びSNS（X、Instagram、Facebook、YouTube、ブログ）等を活用し、展示会や各種イベントに関する情報の随時発信に努めるとともに、ホームページの学習クイズを一新。特に、イベント告知は効果を高めるため、学芸員が作成したショート動画の配信等に当たって、発信するタイミングに留意した。また、新たな試みとして、新聞の当館の定期連載を再編集し公開するブログを開始。 ○出版物発行実績 ・青森県立郷土館研究紀要（第50号） ・青森県立郷土館報（令和7年度版（通巻52号）） ○広報配布物発行実績 ・郷土館だより（1,500部） ・年間行事案内（3,500部） ○情報媒体活用実績 新聞等への寄稿 …新聞82回（連載47回、記事掲載35回）、テレビ・ラジオ22回、雑誌12回 ○SNS等活用実績 ・SNS等の更新（計201回） …Instagram53回、フェイスブック55回、X（旧ツイッター）72回、YouTube動画1回、ショート動画12回、ブログ8回 ・郷土館ホームページの更新…91回 ・教育委員会広報の更新（計40回） …教育広報3回、Instagram14回、フェイスブック21回、ライン2回 ○郷土館ホームページのアクセス数 35,736件	達成

基本的運営方針	令和7年度事業計画			令和7年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
5 運営体制 つづき	資料を介してコミュニケーションを図り、多様な主体との積極的な連携・協働を推進します。	多様な主体との連携により、展示会、講演会等を開催します。 収蔵資料検索システムをより充実させます。	・展示会については、「2 展示」を参照 ・講演会等の開催実績・収蔵資料検索システム登録実績 [登録：100 点/年]	○多様な主体との連携した取組 青森県博物館大会 10/1（会場：横浜町ふれあいセンター、横浜町郷土館） …県内の博物館・資料館が博物館活動を進めていくうえで参考となる実践例の紹介や講演会を行う青森県博物館大会を開催。青森県博物館等協会会員館のうち 14 館 37 人が参加。 ※ 一般の方を対象とする「博物館の仕事普及啓発事業」を併催。 ○展示会については「2 展示」参照 ○講演会等については「4 教育普及・学習支援」参照 ○収蔵資料の検索システムへの登録と公開の推進 検索システムへの新規登録点数：770 点（公開点数総計：12,889 点）	達成
	博物館活動を継続していくため、経営資源を最大限に生かしながら、効率的・効果的な運営基盤の確立を図ります。	博物館評価を実施し、PDCAサイクルにより常に改善に取り組みます。	・博物館評価の実績	○博物館評価の実施 令和7年度事業の実施状況等の点検・評価を行う「博物館評価」として、令和8年1月末現在の令和7年度事業計画の取組状況の中間とりまとめを令和7年2月に実施の上、令和7年度事業実績による最終評価を年度終了後（令和8年7月）に実施。	達成